

【研究テーマ】

一中三小による静岡型小中一貫教育のあり方と先進的な取組の推進

1 研究の目的

美和地区では、幼保小中一貫教育のコンセプトとして「フロンティア精神をもったたくましい子、美和を愛し世界に目を向ける子どもを育てる」を掲げ、先進的な取組を推進することとした。「美和地区ならではの小中一貫教育カリキュラム」を編成・実施し、美和地区の子どもたちが、「美和で学んで良かった」と実感できる学校づくりを目指す。

2 取組内容

【平成29年度の取組】

◎美和地区幼保小中一貫教育構想の作成

- ・美和地区幼保小中一貫教育準備委員会を設置
- ・推進リーダー委員会（教職員）を組織し、ボトムアップ型の研究体制を構築
- ・小小連携 小学校交流学习の実施（1年生～6年生）
- ・小学校合同体力テストの実施
- ・美和地区幼保小中合同美術展 地域の施設「アカデ美和」で開催
- ・美和地区合同芸術鑑賞教室の実施
- ・美和地区幼保小中合同ノーメディアデーの実施
- ・教育課程を4校で共通（授業日数 時間割 ステージの日程等）
- ・外国語活動研究授業公開（安倍口小）外国語活動体験講をアカデ美和で実施
- ・美和文庫100冊プロジェクト（美和地区4校の学校司書が連携して作成）
- ・MIWA塾の開催（中学生が、小学生に宿題をサポート）
- ・美和地区小学6年生 共通の計画帳使用 共通学習・生活カードの使用



3小学校合同体力テスト



幼保小中合同茶摘み

【平成30年度～令和元年度の取組】

◎学校評価（学校評価指標を共通化し、幼保小中一貫教育推進委員会で評価）

創造1 美和らしさの追求

- ・小学校拡大学年部会で交流学习の企画、運営を決定
小学校交流学习（1年生～6年生）の継続実施
- ・美和地区幼保小中合同茶摘みの実施
- ・美和地区小中合同音楽交流会の実施
- ・美和地区小中合同キャリア教育の実施
- ・美和地区合同持久走大会 西ヶ谷運動場で実施
- ・しずおか学 小中7年間の系統性のある「ふるさと美和学习」全体計画を作成



MIWA塾

創造2 美和学习スタイルの共有

- ・美和文庫100冊完成、配付
- ・つまずき学習発見プリントの活用

創造3 美和の研修をつなぐ

- ・美和地区教職員合同授業研修会（美和研）の実施 ※「書く力の向上」を目指して

創造4 美和から世界へ

- ・小中合同外国語授業の継続実施（H28 H29 H30）
- ・英語力向上が期待でき、学級担任も使いやすい外国語デジタル教材を3小学校で積極的に活用

創造5 UDを意識した分かる授業

- ・コラボノートを活用した小小交流 小中交流学习（ICT機器の活用）

創造6 人間関係力を高める

- ・美和地区クリーン作戦に小中が連携し、授業日として実施
- ・小学6年生 美和中1日体験入学の実施（中学授業体験 部活動体験等）

創造8 幼保小中の子ども像の共有

- ・生徒指導「美和地区 みんなのやくそく」を作成し、各教室に掲示

創造9

- ・幼保小中一貫教育だよりの発行（美和地区小中4校で輪番制）

◎美和地区幼保小中一貫教育 中間研究発表会 開催（H31 1/24・25）

◎美和地区幼保小中一貫教育 実践研究発表会 開催（R元 11/8）



美和文庫100冊



美和地区「みんなのやくそく」

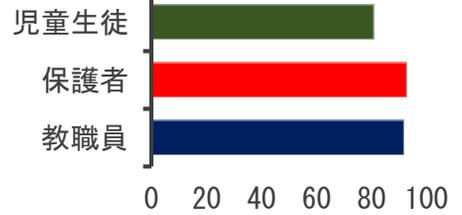
3 考察（成果と課題）

成果

【指標4】 美和らしさの追求（視点3 軸 創造1）

『学校や校種の枠を越えて、連携を図っている』

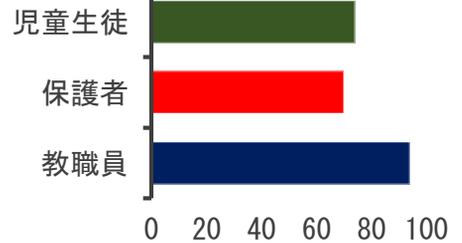
教職員、児童生徒は、ふるさと美和学习（しずおか学）等の小学校交流学习や小中合同授業に手ごたえを感じている。保護者もMIWA塾等の取組による児童生徒間の交流、小学校交流学习等を通して、美和地区の間で一緒に学ぶことは、大切だと感じている。



【指標3】 美和から世界へ（視点2 軸 創造4）

『児童生徒は、英語や外国語、外国語活動の時間を楽しみにし、慣れ親しんでいる』

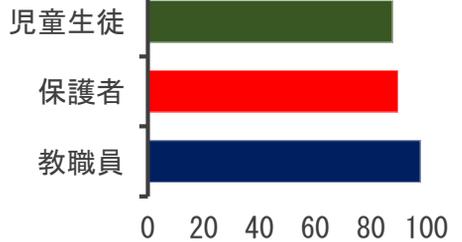
小学3年生外国語活動研究授業、外国語活動体験講座を実施したこと、さらに、英語の音（フォニックス）をリズム正しく、自然に身に付けられるデジタル教材を3小学校共通で活用していることが、教職員の高い意識につながっている。



【指標9】 小・中をつなげる（視点1 創造7）

『教職員は、児童生徒の情報を共有し、共通理解のもと指導を行っている』

小中4校でのノーチャイムの実施、幼保小中ノーメディアデーの実践、また、生活の約束の共通化など、美和地区全体で教職員が共通理解をし、児童生徒を指導していることが児童生徒、教職員の意識の高さにつながっている。

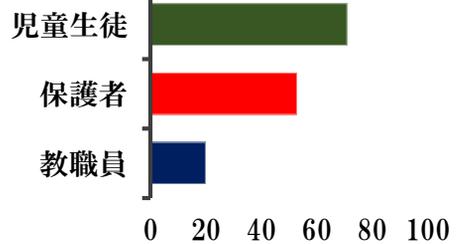


課題

【指標7】 家庭学習の共通実践（視点3 創造7）

『家で自分で計画を立てて勉強している』

美和地区共通『家庭学習の手引き』の内容等は、小中4校で共有できている。しかし、家庭学習の取組については、児童生徒、保護者、教職員ともに意識が低い。今後、より質を高め、『できるようになる』ための家庭学習をめざし、教職員の意識と保護者との連携を強化していく必要がある。



4 今後の方向性

○美和地区幼保小中一貫教育推進委員会の在り方（視点4）

学校と地域社会との互惠関係を深めるために設置した「幼保小中一貫教育推進委員会」は、令和5年度「小中一貫コミュニティスクール委員会」に発展させるために準備を進めていきたい。「めざす子ども像」を踏まえての必要な組織等について、地域の方々と十分に協議を重ねていく。

○スクラップ&スリムへの高い意識

幼保小中一貫教育構想 創造1～創造10 実践後のアンケート調査等の結果を考察し、子どもたちの資質・能力の向上が期待でき、教育効果が高い取組を明確にし、児童生徒、教職員にとって無理なく継続できる体制を整備していく。